

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造形表現論
科目基礎情報				
開設学科	こども学科	コース名		開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 15時間
単位数	1単位	授業形態	演習	
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
担当教員情報				
担当教員	井上 厚	実務経験の有無・職種	無	
学習目的				
乳幼児期は、人格の基礎が形成される時期である。この時期の教育において育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたものの内容として五領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」が挙げられる。この科目は5領域の中から「表現」に関わる科目である。学生自身が保育者となった時に、個々のこども達が、自分なりの自由な表現が出来る指導援助が出来ることを目的とする。				
到達目標				
学生が1つの課題に取り組む際に、どのような環境設定をすれば良いかわかるようになる。その課題に見合う適切な材料と用具を選択出来るようになる。また、材料の適切な量や、配合などを判断出来るようになる。教員が示す作り方の例や、他の学生の制作をヒントに自分なりの表現方法を模索し、表現出来るようになる。他の学生の作品の特に良い部分や、ユニークな魅力のある部分を見つけて、その魅力を評価し、言葉で表現出来るようになる。				
教育方法等				
授業概要	保育現場で使われている材料（絵具、クレパス）などを使いテーマ、課題に沿った制作を行う。材料や用具の配置などの適切な環境設定を習得する。絵の具を使う際には水との適切な配合を学ぶ。また、材料を無駄にすることのないような適切な分量を身に付けさせる。			
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは作品の提出を認めない。材料や用具の準備、および清掃は授業ごとに毎回協力して積極的に行うこと。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	技術	60%	授業内で制作した作品の技術的な部分、手際を総合的に評価する	
	アイデア	20%	授業内容で制作した作品のアイデアを評価する	
	完成度	10%	授業内容で制作した作品の完成度を評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～8回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	折り紙	折り紙の基礎となる、基本的な折り方を身に付ける。		
2回	平面構成	絵の具と水の配合、筆やパレットやの使い方など基礎的な知識、技術を身に付ける。		
3回	自分の好きな世界を描く	画面の中に自分の好きな世界を構築し描くことを理解し、身に付ける。		
4回	コラージュ	様々な素材の持つ表情を活かして1枚の画面を構成することを理解し、身に付ける。		
5回	スクラッチ	クレパスを使ったスクラッチ技法を理解し、身に付ける。		
6回	動物を描く	動物のいる風景を描くことを理解し、身に付ける。		
7回	消しゴムはんこの制作	消しゴムはんこの技法を理解し、身に付ける。		
8回	お弁当の制作	樹脂粘土でお弁当をつくる。技法を理解し、細かい表現を身に付ける。		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				